

令和4年度 小・中連携研修会のまとめ【甲東中, 松原小, 山下小】

1 令和4年度 グループ研究主題

不登校・中1ギャップ等の課題を解決するための小中連携はいかにあるべきか

2 研究主題設定の理由

授業参観を通して、同じ中学校校区内で学ぶ児童・生徒の実態を把握し、学習指導面や生徒指導面において共通の課題を明らかにし、共通実践を図ることにより、系統的な指導を行うことができるようにする。

3 研究の視点

- (1) 確かな基礎学力の定着を図るための学習指導の在り方
- (2) 児童・生徒の発達の特性を踏まえた生徒指導の在り方
- (3) 児童・生徒の自立や社会参加を目指すための特別支援教育の在り方
- (4) 「生きる力」を育むための教育課程の工夫・改善

4 研修会の内容

<p>学力向上分科会</p> <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学力の二極化・ タブレットを活用した効果的なICTの活用・ 学力格差を克服するためのTT, 少人数, チャレンジタイムなどの手立て・ 補充指導 <p>【共通実践事項】</p> <p>学力向上に向けてのICT活用の充実</p>	<p>生徒指導分科会</p> <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 不登校・登校しぶり・ 生活リズムの乱れ・ 無断欠席・ 家庭への呼び掛け <p>【共通実践事項】</p> <p>SCやSSWなどの関係機関との連携</p> <p>小・中連携をより充実させるための積極的な情報交換</p>	<p>特別支援教育分科会</p> <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 子供たちの実態把握・ 多学年学級での授業の進め方・ 見学の機会を設けるなど、横のつながりを意識した情報共有 <p>【共通実践事項】</p> <p>実態が異なる他学年学級での学習や指導の充実</p>
--	--	---

5 成果と課題

(1) 成果

- 特別支援分科会を新設したことで、指導法等について情報共有することができた。
- 互いの学校の現状を把握し、それぞれに合った取組を考えることができた。
- 授業の目標だけでなく、教師の手立てを資料に明記したことで、視点をもって参観することができた。

(2) 課題

- 共通実践事項について「どのように実践していくか。」「実践できたか。」「どのように成果を見取るのか。」まで検討できなかった。